



**MRI 検査再開のお知らせ**：VMTH では、MRI 用麻酔モニターの故障により長期間 MRI が稼働できない状況が続き、皆様には多大なるご迷惑をおかけしております。このたび、新たな MRI 用麻酔モニターの設置の目途が立ち、2026 年 1 月より MRI 検査を再開できる見通しとなりました。再開後は、これまでと変わらず MRI をご活用いただければ幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。(病院長 星 史雄)

## VMTH NEWS

・**第 74 回四国地区獣医師大会**：9 月 7 日、本学にて第 74 回四国地区獣医師大会が開催されました。研修獣医師の真木瑛大先生と大学院生の影山沙樹先生が、日ごろの研究成果を発表しました。真木先生は抗がん剤の新たな使用法の検討について、影山先生は副腎腫瘍手術後に生じる合併症に関するまとめを報告しました。当日は質疑応答も活発に行われ、大変盛り上がった学会となりました。(水谷 真也)



・**サテライト・シンポジウム**：四国地区獣医師大会の前日には、VMTH 主催のサテライト・シンポジウムが開催されました。VMTH からは、小林宏祐先生が猫伝染性腹膜炎 (FIP) の最新の臨床知見を、佐伯香織先生が動物看護におけるワン・ヘルスの取り組みについて講義されました。(TS)



・**いまばりペダル 2025**：今治市主催の「いまばりペダル 2025」に、VMTH より神田、三河、小林、酒井が参戦！“ファンライド”と呼ばれるこのイベントは、しなまみ海道を含むルートで自転車で行き、景色や休憩地点での食事を楽しむというもの——のはずでした。しかし、当日は雨天スタート、予想以上の急勾配、そして「ファンライドとは？」と首を傾げる周囲のスピード感。初心者にはハードな内容 (笑)。それでも、全員 50 km を走破し、達成感たっぷりの楽しい 1 日となりました。次は 100km に挑戦します！？ (神田 鉄平)



・**第 15 回 VMTH 公開セミナー**：11 月 6 日、千寿製薬 (株) 様・メニワン (株) 様の協賛のもと、眼科セミナーが開催されました。動物用点眼薬について、薬物動態や剤形の特徴を踏まえた解説に続いて、眼科の岡田大輝先生より、ご自身の研究テーマでもあるぶどう膜炎について、解剖や病態生理から診断・治療のポイントまで丁寧な講義が行われました。参加者にとって大変有意義なセミナーとなりました。(酒井 治)



**新入教職員紹介** 水谷 祐子 研修獣医師 10 月より放射線治療に携わっています。出産・育児による約 6 年のブランクを埋めるべく、夫や子供たち、そして周囲の皆様に支えられながら奮闘する日々です。お兄ちゃんが拾ってきたドングリを夜な夜な茹でたり、イヤイヤ期真っ只中の妹ちゃんと格闘したりと慌ただしい毎日



ですが、育児も仕事も手を抜かず頑張っています。

**宮崎 匡史 研修獣医師** 今秋より、麻酔科研修獣医師として勤務しております。ロックとお笑いと漫画とゲームと美味しいものが大好きです。瀬戸内海式気候の過ごしやすさにどっぷり浸かり、気が付けば今治も 8 年目。本学獣医学科の一期生であり、卒業生として初の研修医として恥じぬよう、また、学生時代お世話になった先生方と共に働くことのできる貴重な機会を無駄にせぬよう頑張ります！！



**教員の昇任** 酒井 治助手 (内科)、吉竹涼平 助手 (外科) が助教に昇任されました。

## コラム 1 船長 和田の釣り日誌 #15

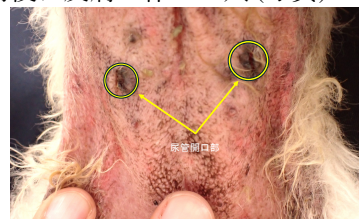
10/4 曇り、大島近海。釣り日誌の為、普段はやらないアオリイカを狙います。持ち合わせのロッドにベイトリールをつけ、3.5 号のエギでティップランに初挑戦。アオリの生態や捕食方法も勉強し、“イカに選ばれるエギ”を目指してシャクっていきます。魚とは違うアタリで中々抱かせることができませんでしたが、小型ながらも綺麗なアイシャドウのアオリをゲット。“イカの王様”と呼ばれるだけあって味はお墨付き。お刺身で美味しくいただきました。(船長 和田 <愛玩動物看護師長>)



**VMTH の診療** 眼科診療を再開しました。犬や猫では、人と同じように白内障、緑内障、ぶどう膜炎、角膜の病気など、さまざまな眼のトラブルがみられます。診察では目の状態を丁寧に確認し、必要に応じて検査を行いながら診断を進めていきます。治療は点眼が中心となることも多いですが、必要に応じて外科的な治療にも対応しています。軽い充血や‘目やに’にも病気のサインが隠れていることがありますので、気になる様子があればご相談ください。動物たちの眼の健康を守るお手伝いができれば幸いです。(岡田 大輝)

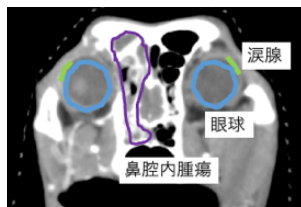


**VMTH Case Report** 9 歳の雄のトイプードルが、腎数値の上昇と尿管閉塞の精査のため来院。検査の結果、膀胱と尿道に腫瘍がみつかり、尿管から膀胱へ尿が流れにくい状態でした。膀胱から尿道、陰茎までを全て摘出し、尿管を皮膚に繋ぐ手術を実施。この手術では尿を貯めることができなくなるため、術後は皮膚に作った穴 (写真) から尿が漏れますが、ナースバンド (犬用のおむつのようなバンド) などで受け止めることで、支障の少ない日常生活が可能です。病理検査では悪性腫瘍と診断。転移しやすい腫瘍でしたが、幸い手術から 3 年が経った現在も転移なく元気に過ごしています。(前田 憲孝)

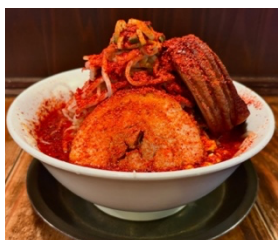




**OUS-VET Article** Ohnishi A, Takeda S, Okada Y, Tokoro M, Kageyama S, Itoh Y, Asanuma T. Risk Factors for Radiation-Induced Keratoconjunctivitis Sicca in Dogs Treated with Hypofractionated Intensity-Modulated Radiation Therapy for Intranasal Tumors. *Animals*, 15(2258), 2025. 強度変調放射線治療 (IMRT)は、放射線を細かく調整し、ピンポイントに腫瘍にあてる新しい技術です。犬の鼻の奥にできる腫瘍に用いた場合、治療後に目が乾きやすくなる乾性角結膜炎 (KCS) がみられることがあります。本研究では、治療中に眼球や角膜が受けた放射線量を詳しく評価し、KCS 発症との関連を検討しました。その結果、目の周りに高い線量があたるほど KCS が起こりやすいたことが示され、副作用を抑える線量の目安が明らかになりました。より安全な放射線治療につながる成果として報告しました。(大西 章弘)

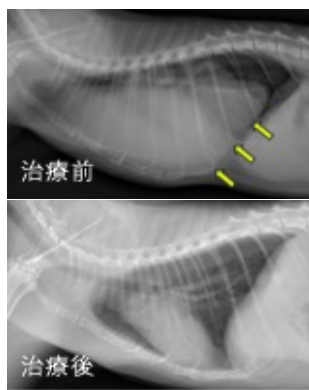


## コラム 2 診察のあとは、ラーメンです。#3



思いっきり刺激が欲しい夜にはこれ!? 真っ赤で山盛りのビジュアル、分厚すぎるチャーシューがドーン。こちらは、今治市桜井、骨太味覚さんの一杯。赤味噌ラーメンの、カスタムは激辛③、野菜カチ、背脂ギト、ど豚トッピング! 真っ赤な見た目に一瞬怯みながら食べ始めると、辛い中にも背脂の甘さ、辛味噌スープを吸ったクタクタの野菜の旨みが意外と優しく、しみじみおいしい。ど豚に無心でかぶりつき、麺を夢中で吸って、いつの間にか完食。デザートにアイスを食べて満腹で寝たら、不健康だけど心は健康。(佐藤 愛実<AiCVM レジデント>)

**研修獣医師の日常! 新連載!** 腫瘍内科で研修を始めて早 1 年。VMTH では様々な診療科が連携して治療にあっています。写真は胸の中に大きな腫瘍(胸腺腫)ができた猫ちゃんのレントゲン。呼吸が苦しうだったのでまずは術前治療(ネオアジュバント療法と呼びます)として、飲み薬で”内科”的に腫瘍を小さくし、その後、”外科”的治療(手術)を行い、呼吸も楽になりました。今後、再発があれば”放射線”治療も選択肢となります。内科・外科・放射線科など多くの先生方にご指導をいただきながら日々診療にあたり、幅広い経験を積んでいます。(真木 瑛大)



**VMTH の愛玩動物看護師** 獣医療に携わるスタッフは、動物の健康維持と同様に自身の安全確保も重要です。特に抗がん剤を取り扱う場合には、触れてしまう(=曝露)リスクを減らす対策が必要となります。VMTH では識別プレートによる情報共有や、排泄物処理時の個人用防護具の着用を徹底しています。床敷に使い捨て材を用い、汚染部位を抗がん剤分解溶液で清拭することで、スタッフの安全確保に努めています。(森下 利代)



## コラム 3 しまなみサイクリング日記 ! 新連載!



今治といえば、しまなみ海道サイクリング。初心者サイクリストの目線から、しまなみ海道の魅力や観光スポットを紹介します。第 1 回は、今治側から最初に渡る来島海峡大橋を、歩行者・自転車道からご紹介。この橋は途中で 2 つの島を経由する全長約 4km の三連吊橋で、

## 産業動物診療科だより POCT(Point of Care Testing)

は、【臨床現場即時診断】を意味し、インフルエンザの迅速診断のように、その場で結果が得られる検査技術です。この秋、小型で持ち運びが容易な PCR 装置(PicoGene®1100, (株) ゴーフォトン) (写真) が導入され、主に牛のマイコプラズマ肺炎や牛ウイルス性下痢といった感染症の診断に活用しています。12 月 6 日に開催された家畜感染症学会では、推奨研究として PicoGene1100®を用いた POCT の家畜臨床現場での応用について講演をしてきました。このような技術の普及により、家畜疾病の早期診断にさらに繋がることを期待します。(増田 恒幸)



## VMTH の診療機器



歯には歯の X 線。VMTH では歯科用 X 線装置「EzRay Air」(RayVision 社)を導入。コードレス・業界最軽量 (2.1kg) のため片手で操作でき、散乱放射線も少ないため処置室でも使用可能です。通常の X 線装置では捉えきれない歯の細かい評価ができ、処置中の再撮影もスムーズです。歯根の状態や抜歯時の残根の確認など、歯科処置の際には欠かせない相棒となっています。時にはハムスターの X 線撮影という裏技も…。なんでも挑戦! Go on, get your teeth into it! (三河 翔馬)

コラム 4 #5 俳壺逍遙遊 森川大和

虫獣眠る  
スカウト眠る山

長男がボーイスカウトの  
ブ隊に所属する関係で、私  
名程度の一小隊をサポーター  
るデンリダーを務めている  
先日、県内約三百名のスカウ  
トと指導者が紅葉只中の石  
山麓に会し、宿泊を伴う活  
賑わいを見せた。皆一人一  
寝袋に寝静まる深々とし  
吸の奥に、小さな体を折り  
て冬眠する虫や獣を思う。曲  
じ命の穴と、そしてその大  
大小の穴々を抱きながら、  
袋の大小の穴々をの深い眠  
の山もまた冬の深い眠りに  
だ。

## 編集のつぶやき

・麻酔科の朱夏希先生が退職されました。今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。  
・眼科診療が再開しました。また、1 月からは MRI 検査も再開の見込みです。ご不便をおかけしましたが、今後も変わらずご紹介いただけますと幸いです。  
・今治も少しずつ冬らしさが感じられる頃となりました。どうぞ皆さま、お健やかにお過ごしください。(TS)

岡山理科大学獣医学教育病院  
〒794-8555 今治市いこいの丘 1-3  
TEL: 0898-52-9001, FAX: 0898-52-9211  
E-メール: vmth@vet.ous.ac.jp  
URL: <https://www.vmth.ous.ac.jp>